

別記様式

## 議員派遣報告書（閲覧用）

平成25年10月30日

岐阜県議会議長 様

岐阜県議会議員 玉田和浩 印

下記のとおり議員派遣業務が終了しましたので、報告します。

記

派遣目的	インドネシア・シンガポール・タイ・台湾における外国人観光客の誘致推進と岐阜県産品のPR等のための海外事情調査
行程表（別紙1のとおり）	
派遣成果（詳細は別紙2のとおり）	
日付	成果の概要
10月11日	(インドネシア・ジャカルタ) 駐インドネシア共和国日本国大使との面談 岐阜県交流会
10月12日	(インドネシア・ジャカルタ) 大手訪日旅行会社社長との面談 ジャパントラベルフェア視察 ジャカルタ・ジャパン・クラブ関係者との懇談 GAS 候補店視察・意見交換 ジャカルタ岐阜県人会との夕食懇談
10月13日	(インドネシア・ジャカルタ) ASEAN 担当大使との懇談 ERIA、JETRO ジャカルタ事務所、JNTO ジャカルタ事務所関係者との懇談 岐阜県 PR イベント出席
10月14日	(シンガポール・シンガポール市) AirAsiaExpedia との面談 駐シンガポール共和国日本国大使との面談 飛驒牛海外推奨店認定式出席 シンガポール旅行業関係者との懇談

10月15日	(シンガポール・シンガポール市) クエック・レンジュ氏の個人写真ギャラリー視察 JETRO シンガポール事務所、JNTO シンガポール事務所、CLAIR シンガポール事務所関係者との懇談
10月16日	(タイ・バンコク) 県内進出企業関係者等との意見交換 岐阜県・飛騨牛フェア出席
10月17日	(台湾・台北市) 亜東関係協会との面談
10月18日	台湾旅行博「ITF」視察
県政に活用できる事項	
県担当課	内 容
国際戦略推進課	県人会との連携強化と連携事業の拡大
観光課	海外誘客の促進
農政部関係課	県産品・農産物輸出の促進

別紙1

行程表

月 日	日 程	宿 泊 地
10月11日(金)	出国 駐インドネシア共和国日本国大使との面談 岐阜県交流会	ジャカルタ
10月12日(土)	大手訪日旅行会社社長との面談 ジャパントラベルフェア視察 ジャカルタ・ジャパン・クラブ関係者との懇談 GAS 候補店視察・意見交換 ジャカルタ岐阜県人会との夕食懇談	ジャカルタ
10月13日(日)	ASEAN 担当大使との懇談 ERIA、JETRO ジャカルタ事務所、JNTO ジャカルタ事務所関係者との懇談 岐阜県PR イベント出席 シンガポールへ移動	シンガポール
10月14日(月)	AirAsiaExpedia との面談 駐シンガポール共和国日本国大使との面談 飛驒牛海外推奨店認定式出席 シンガポール旅行業関係者との懇談	シンガポール
10月15日(火)	クエック・レンジュ氏の個人写真ギャラリー視察 JETRO シンガポール事務所、JNTO シンガポール事務所、CLAIR シンガポール事務所関係者との懇談 バンコクへ移動	バンコク
10月16日(水)	県内進出企業関係者等との意見交換 岐阜県・飛驒牛フェア出席	バンコク
10月17日(木)	台北へ移動 亜東関係協会との面談	台北
10月18日(金)	台湾旅行博「ITF」視察 帰国	

# 「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」 東南アジア（インドネシア・シンガポール・タイ・台湾）訪問

日程：平成 25 年 10 月 11 日（金）～18 日（金）8 日間

目的：観光誘客、岐阜県産品・農産物輸出の促進



バンコク市内で見かけた、旅行社の日本向けパンフレットは、HidaTakayama・Shirakawa-go などの紹介記事が多く見られました。

台北・亜東関係協会 で頂いた名札(国旗入り)

報告：岐阜県議会議員 玉田 和浩

平成 25 年 10 月

## 東南アジア4カ国(インドネシア・シンガポール・タイ・台湾)訪問

10月10日(木)

平成25年第4回定例県議会が本日閉会しました。明日から知事とインドネシア・シンガポール・タイ・台湾4カ国訪問に旅立ちます。今議会では県政史上始まって以来といってもよい問題が発生しました。知事が提案した議案が2本否決されました。県の指定金融機関議案と県の防災無線交信の請負契約議案です。古田知事も相当

ショックであったと思います。8日間知事と同行する私にとってこんな辛いことはありませんでした。でも「誰かが受け皿になってあげないと」と思い、頑張って行きます。明日早朝出発のため成田国際空港のANAクラウンプラザホテルに宿泊するため、村下副議長と共に上京しました。



10月11日(金)

### 成田空港 9時55分発

飛行機も順調に飛行し7時間のフライトでした。途中眼下に石垣島がきれいに見えみえました。

### ジャカルタ・スカルノ・ハッタ国際空港 15時30分着

ジャカルタ・スカルノ・ハッタ国際空港 ターミナルについたら大使公邸の方が出迎えてくださいました。税関はすべて素通りです。知事と同行するとこの点が大変楽でVIPあつかいです。

空港より大使公邸に直行です。途中高速道路料金所通りました。マイク



ロバスの通行料金は200,000ルピア、桁が大きいのに驚きましたが、日本円で2,000円です。交差点では多くの人が立って手を上げ自家用車に乗り込んでいます。どういう人達かと尋ねれば、インドネシアでは自家用車に一人で乗っていると罰金を取られるそうです。そのためにお金を払って乗ってもらう。そのほうが罰金を払うよりも安くつくそうです。地球温

暖化防止のためには良い政策かもしれませんね。

大使公邸の玄関には我々を歓迎する看板がきれいに掲示してあり、大使のおもてなしの心が手に取るようにわかりました。

鹿取克章 駐インドネシア共和国日本国特命全権大使が、にこやかに出迎えて下さいました。彼は古田知事が外務省勤務の時の友人です。大使公邸室内には先遣部隊により、すでに岐阜県の観光パンフレット・





関の爪切り・美濃の和紙・柿・リンゴなどがきれいに展示してありました。大使公邸室内でこのような催しを開くのは岐阜県が初めてだそうです。午後7時より**鹿取大使の呼びかけでインドネシアの旅行関係者との懇談**



が始まりました。出席者は岐阜県から私のほか、古田知事・村下副議長・野島県議・村上県議・水野県議・加藤県議・田中県議・川本地域産業課長・北川国際戦略推進課長・國島高山市長・堀泰則飛騨/高山観光コンベンション協会会長・足立能夫/桑田博之農業協同組合関係者など、インドネシアに展開している県内企業の参加者は(株)オーツカ(羽島郡笠

松町)・ジーエフ(株)(揖斐郡大野町)・(株)東海化成工業(山県市)・鍋屋バイテック(株)(関市)・濃飛倉庫運輸(株)(岐阜市)・(株)ハウテック(下呂市)・(株)山登ゴム(美濃加茂市)など**インドネシア観光協会関係者総勢約70名**です。



鹿取大使の歓迎の挨拶に始まり、古田知事からは次のような挨拶があ



りました。本県が平成21年度以降、シンガポールやタイ、マレーシア等で進めてきた官民連携による「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」について話され、今回初めて訪問したインドネシアにおいても、観光誘致、農産物や地場産品の輸出・販売促進を図るための取り組みを一層強化していくことを話されました。観光誘致については、県や民間でこれまで

取り組んできた成果が今後数字となって表れることが期待できる。農産物の輸出については、インドネシア政府による規制など、各種障壁があり、簡単にはいかないため、大使館がリーダーシップを取り、インドネシア



政府への働きかけ、本県へのアドバイス・支援を頂けるよう依頼されました。

地場産品の輸出についてはGAS(グローバル・アンテナショップ)事業を本年度立ち上げ、ジャカルタを含む世界10都市で販売促進を展開することを話され大使館の支援をお願いされました。

和やかなうちに懇談が進み参加者の皆さんは展示してある岐阜県産品について色々質問しておりました。

この会場で**デザイナーのハリー・ダルソノ氏**を紹介して頂きました。彼はイギリスのダイアナ妃の衣装もデザインされたそうです。彼は岐阜県に来られた時、岐阜県の観光地が大変気に入って、岐阜県を紹介するビデオ映像を制作されたそうです。また、この会場では、**ミス インドネシア**をご紹介して頂きました。彼女は岐阜県を紹介するビデオ映像制作のタレントとして活躍して頂いた人です。私は岐阜の名産黒ニンニクを紹介しました。初めて見る黒ニンニクを試食する人に感想を聞きました。大変美味しく



匂いがそんなにしないのは素晴らしいと言い、一度に3~5個も試食されていました。

10月12日(土)



### ジャラン・ツアー 矢倉邦夫社長と面談

この会社は、日本へのインセンティブツアー、企業向けのビジネスチケット、個人向けのパッケージツアーを取り扱う旅行会社で特に岐阜県の観光名所を売り込んで頂いている会社です。インドネシアの人達はどちらかといえば現在は、家族旅行が多いので子供が遊べる場所、子供が喜ぶ施設等があると良いとのことでした。また、雪景色、スキー場は大変喜ばれるそうです。岐阜市の鶯飼観光についてお聞きしましたら、パンフレットで見ると魅力ある観光地に思うが、まだ社長自身一度も見たことがないので、是非一度見に来て頂きたいとお話しました。岐阜の観光地で一番魅力の場所はどこですかと聞けば、「世界遺産の白川郷」と「高山観光」でした。

### ジャパントラベル・フェア視察

大きなショッピング会場でジャパン・トラベル・フェアが開催され、そのオープニングセレモニー式典に



出席しました。**会場は6つのブースに仕切られ各観光業者が日本の観光地を紹介していました。**観光ガイドにどこのパンフがよく持っていかれますかと聞けば、やはり大阪・京都・東京・北海道が多いとのことでした。

岐阜はまだまだ宣伝が行き届いていません。岐阜県の中でも、やはり世界遺産の白川郷と飛騨高山観光が人気です。特にジャカルタは雪がないから、雪遊び雪景色の中の温泉が魅力のようです。

今後の観光客誘致拡大のためには、中部国際空港とジャカルタの直行便の開設、中部国際空港から雪の奥飛騨まで近いことを宣伝すれば観光客誘致拡大になると思います。**オープニングは日本太鼓の演奏に始まり、主催者の古田知事からジャパン・トラベル・フェアの目的、岐阜県の観光名所について話されました。**



この会場でおもしろいニュースが入りました。ジャカルタはコーヒーが有名です。中でも一番人気は「猫のフンでできたコーヒー」だそうです。猫のフンと聞いただけでも気持ちが悪く気がしますが、好奇心が先立ち、古田知事さんと売店に行ってみるとなるほど猫の絵がついたコーヒー缶が置いてありました。





店員さんに値段を聞いてびっくり一缶安いもので日本円 4,000 円、高いものでは 30,000 円から 50,000 円だそうです。 私は安い 4,000 円の方を買いましたら、古田知事さんも数个購入しました。知事が試しにどんな味がするか一度飲んでみよかと一杯注文しました。値段は一杯 3,000 円。それを皆で分けて飲みましたが、香りは良いが味はよく判りませんでした。猫のコーヒーは、ジャコウネコが(ジャコウネコは大変コーヒーの実を好むそうです。)コーヒーの実の中でも美味しいコーヒーの実しか食べないとのこと、つまり選び抜かれたコーヒーということで、ジャコウネコが食べた後、排出されたフンの中から消化されなかったコーヒー豆を取り出し洗浄したものです。



### GAS 候補店舗視察

岐阜県の商品を販売したいということで**現地を視察し社長ご夫妻と面談**してきました。



社長はデザイナーで奥さんが店舗を仕切って見えるようです。現在はギャラリーとして若手画家等の育成に努力しておられるようでした。

### ジャカルタ・ジャパン・クラブ(JJC)・ジャカルタ岐阜県人会関係者と懇談



インドネシア最大の  
日本企業の団体**ジャカルタ・ジャパン・クラブ(JJC)**関係者と昼食  
をはさんで懇談。



野波雅裕インドネシア・トヨタ自動車社長・富吉賢一ジェトロジャカルタ事務所所長・渡邊泰明三菱商事ジャカルタ

駐在事務所業務部長・吉田晋ジャカルタ岐阜県人会事務局長などの皆さんと**居酒屋で懇親会**をいたしました。出席者の皆さんお一人お一人自己紹介をして我々に対する要望等もお聞きしました。皆さんの一番の願いは中部国際空港からジャカルタまでの直通便が出るよう骨を折ってほしいとのことでした。**ジャカルタ岐阜県人会**は現在会員40名ですが今後80名近い会員になるよう努力していきますと力強く話されました。



10月13日(日)

### アセアン担当日本国大使公邸にて石兼公博特命全権大使のご招待で朝食会



石兼大使は古田知事の後輩、大変おしとやかな大使でした。インドネシアの今後の経済についてお話を聞きました。話の中で公邸の建物がイギリス



人の持ち物で、日本政府が家賃を払って借りているとのことでした。

世界の経済大国になった日本としては何と情けないことかと思いました。

### アラアの神に祈りをささげるモスク(信者が集まりアラアの神に祈りをささげる場所)に立ち寄りました。



5階建てのビルで空間が大きく拝礼する人たちが多く入れる建物でした。また、モスクの前には立派なカトリックの教会がありました。ここでは宗教の争いはないそうです。



### ERIA 西村事務総長・ジェトロ富吉所長・JNTO 石崎所長と昼食会

ERIA 西村事務総長は古田知事の外務省勤務時代の後輩です。現在は外務省を退職して ERIA の事務総長として勤務されています。ERIA とは情報収集機関です。東アジア各国が資金を出して運営し、要請のあった国からの要件について、世界から必要な情報・データ等を集め提供したりする国際機関です。

西村氏は大変な詩人で本まで出版されています。奥さんも有名な詩人とのことでした。なかなかの弁達者で先日行われたエーペックの ITT 問題についてお話を聞きました。

### 岐阜県 PR イベントに出席



グラン・メリア・ジャカルタという会場で、岐阜県を PR するイベントに出席。演出していただいたのは、世界的に有名なデザイナーのハリー・ダルソノさんです。



会場に展示した岐阜県産品の商品が少なかったのもう少し多く展示すればよかったと思いました。

ハリー・ダルソノさんが制作した岐阜県を紹介するビデオ映像はよくできた素晴らしいものでした。



来場者は約 200 名、知事のトップセールスの意気込みの挨拶は大変力が入っておりました。残念でしたが、シンガポールに向かう飛行機の時間が迫り途中で退席しました。

**ジャカルタ・スカルノ・ハッタ国際空港 19時05分発、**

**シンガポール・チャンギ国際空港 21時40分着**

**セントレジス ホテル&レジデンス 宿泊**

豪華なシャンデリアやクリスタルを散りばめたアートギャラリーのような芸術品の展示など、館内の調度品も素晴らしい最高級6つ星ホテルです。



**10月14日（月）**

午前中シンガポール市内を視察。最初に視察したのは、サルタン・モスク礼拝場 ジャカルタのモスクと違い大変豪華な建物でした。やはり経済力の違いかと実感しました。

**アラブ・ストリート(商店街)を視察** 仏教に関する店が多くあり早朝のせいか数店しか



店が開いていませんでした。フル・ショウ・コンプレックス一つのビルに多くのお店が入っている。時間が早かったせいかまだ数店しか店が開いておりませんでした、足・手等のマッサージ店がやけに多くありました。

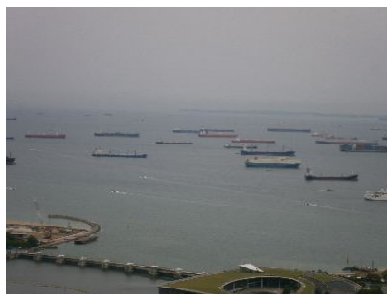


町の中を移動中気が付いたことは、自動販売機がないことです。シンガポールでは自販機は置けないそうです。これも考えようによっては、雇用の増進につながることを思えば良いことかな。 **マリーナ・ベイ・サンズ** 3塔のビルの上に船の形を作り連結してある建物でビル内はホテル、カジノ、バーなどが入っていて平日にも拘らず大変な人でした。



**サンズ・スカイパーク展望台からはシンガポール湾・町が一望**できます。

湾内に数百船の貨物船が停泊していたのには驚きました。さすが世界の貿易港だと。眼下にはシンガポールの



ルのコー・ブンアン国家開発大臣が力を入れて作った植物園が全体的によく見えました。マリーナ・ベイ・サンズと町をつないで



いるダブル・ヘリックス・ブリッジを見学、ここから眺める景観はまた素晴らしいものがありました。



## エア・アジア・エクスペディア (Expedia) のヴィクラム・マルヒ ジェネラルマネージャーと面談

この会社は、インターネットで旅行ツアーを計画して販売している会社で、シンガポールでは最大のネット販売会社です。岐阜県の観光名所を説明し、ツアーを計画して販売して頂くよう頼みました。



岐阜の観光名所は魅力的だと言っておられました。この方はエア・アジア・エクスペディアのナンバー2のお方で、まだ岐阜に一度も行ったことがないとのことでは是非一度来てくださいますと私からも要請しておきました。

## 駐シンガポール共和国日本国特命全権大使 竹内春久大使と面談

シンガポール共和国日本国特命全権大使 竹内春久大使に大使公邸にて面談しました。彼はシンガポール共和国日本国特命全権大使に着任してまだ一週間とのことでした。知事からは「飛騨美濃じまん海外戦略プロジェクト」の展開でこれまで山中大使・鈴木大使にお世話になってきたので、今後とも同様なご支援をお願いしますと話され先輩格の知事の話にただ頷いておられました。



## 飛騨牛海外推奨店認定式

飛騨牛認定店において認定式会場は先遣部隊の皆さんで会場準備がされていました。柿・リンゴ・トマト・シイタケ・枝豆・栗など岐阜県産品が展示してありました。

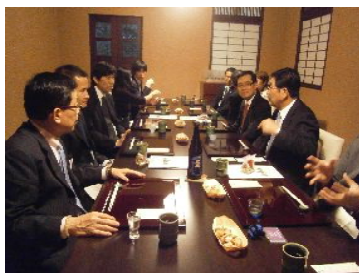


そこに私が持ち込んだ成和の黒ニンニクも展示しました。この会場で、小川県議・田中県議・森県議・佐藤県議・野島県議・水野県議・矢島県



議・加藤県議・村上県議が合流し県議11名が揃いました。認定式は主催者の古田知事の挨拶に始まり、来賓の竹内春久大使の挨拶のあと、店のオーナー Kazuhiro Hamamoto 氏に知事から認定書の看板が授与されました。この後、飛騨牛パーティー。60名の参加者の中、なぜか日本人が多かった。

古田知事と村下副議長・國嶋高山市長、そして私は別席で夕食を囲みながら、シンガポール航空のフィリップ・ゴ副社長と竹内春久大使・ネット広告のパトリシア・



オーヤン社長さん達と懇談し、岐阜県の海外戦略の現況と今後の戦略方策について意見交換をしました。高山市長はさかんに高山観光の説明をしておりました。ここでも飛騨の雪観光についての質問が多く出ました。岐阜市の鶉飼観光について、どの程度ご存知か色々質問をしてみました。いまいち関心度が薄かった。岐阜市も高山市と同じようにもっと海外観光 PR 活動に力を入れなければと思いました。私はこの席で岐阜県の健康食品の一つ黒ニンニクの効果を説明し皆さんに試食してもらいました。皆さんの反応は大変好評で、どうしたらこのような黒ニンニクができるのか興味を示されました。飛騨牛試食会の会でしたが、残念なことに飛騨牛が少量しか出なかったのが黒ニンニク試食会になってしまいました。でも岐阜県の PR はしっかりと出来ました。

10月15日(火)

### CDL 社 クエック・レンジュ社長のギャラリー視察



CDL 社はシンガポールをはじめ世界各地にホテルを経営し・貸事務所・貿易事業・不動産も手がけている会社です。クエック・レンジュさんは現在不動産部門担当の社長さんです。シンガポールで一番のお金持ちはクエック・レンジュさんのお父さんで二番目はお兄さん、3番目がクエック・レンジュさんだそうです。古田知事は彼とは数年前からの友人だそうです。岐阜県のシンガポールでの取り組みを多方面から支援して頂いているとのこと。

クエック・レンジュ氏は、シンガポール写真協会会長、国際芸術評議会会



員、ナショナル・アート・ギャラリー運営委員で、40年以上趣味で写真を撮影。写真集は一般に販売せず自身に認める人にいい値で購入してもらい、収益は慈善団体に



寄付されています。ギャラリーは、港近くの会社が所有している倉庫を**彼のギャラリー**に改造し、特に彼の親しい人にしか見せていないそうです。**大変素晴らしい風景写真や人物写真が展示**してあり、さすが40年のキャリアの写真家だと感服しました。彼は岐阜県にも立ち寄っており、美濃市・郡上市・大垣市の街並みの写真も多くありました。日本の風景が大変気に入っておられるようでした。



### JETRO(日本貿易振興機構)シンガポール事務所訪問

長谷部雅也所長・椎野幸平次長・JNTO(日本政府観光局)シンガポール観光宣伝事務所真鍋英樹所長・加藤英彦次長(岐阜県派遣職員)・CLAIRシンガポール足達雅英所長(総務省出身)と面談。岐阜県の物産商品、観光産業の海外戦略について意見交換をしました。彼らのところには日本の各都道府県からシンガポ

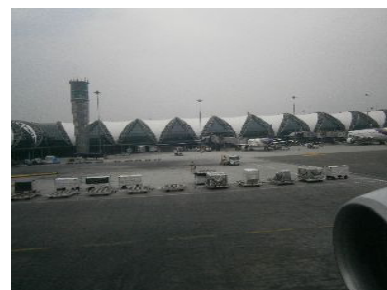


ールへの海外戦略についてよく相談に来られるそうです。彼らから見た岐阜県のシンガポールへの戦略は他の都道府県よりも一歩も二歩も先んじているとの評価でした。これは偏に古田知事の海外戦略トップセールスの効果の表れだと思いました。外務省経験の多い古田知事、海外に多く出て岐阜県の海外戦略の道を大いに開拓してもらいたいものです。JETRO 駐在員の平均年齢は32歳。若手がよく頑張っています。

**シンガポール・チャンギ国際空港 16時発**

**バンコク国際空港 17時25分着 コンラッド・バンコク・ホテル泊り**

バンコクの中心部、オールシーズンズプレイスに位置。周辺には商業施設やショッピングモールがありました。



**10月16日（水）**

**ワット・プラケオ（王宮）**

タイの観光地ワット・プラケオを視察してきました。生憎の雨でしたが多くの観光客でにぎわっていて中国、韓国の観光客がほとんどでした。



**宮殿全景**



**王室全景**



**ワット・ポー（WAT PHO）を見学するため**

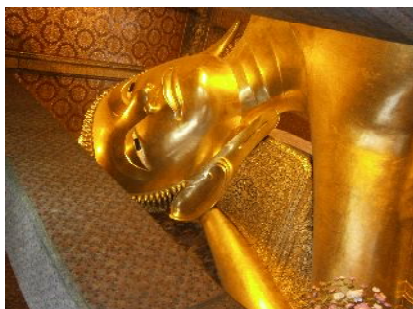
**バンコクの名物タクシー「トゥクトゥク・タクシー」に乗車しました。**

混雑している道路には、小回りができ便利です。乗車されてもよろしいが少し危険も伴います。



**ワットマルン寺院の巨大な涅槃像。**

**全長45メートルの仏像を視察しました。金ぴかの涅槃像は立派なお姿でした。**





バーン・カニタ・タイにおいて、私の通訳としてご協力いただいた谷口さんと昼食です。彼女は現在岐阜県の中国上海事務所に勤務し活躍して頂いており、大変中国語が堪能なお方です。

### サーヤム・パラゴン周辺散歩

雨の中、サーヤム・パラゴンの町を散歩しましたが、道路の排水が整備されていないため道路が灌水して道を歩くのに大変でした。その為「トゥクトゥク・タクシー」が大繁盛です。

### 県内進出企業と JETRO 井内所長と意見交換

JETRO は「我が国の貿易の振興に関する事業を具体的かつ効率的に実施すること並びにアジア地域等の経済及びこれに関する諸事業について基礎的かつ総合的な調査研究ならびにその成果の普及を行い、もってこれらの地域との貿易の拡大及び経済協力の促進に寄与することを目的とする。」

JETRO バンコク事務所 県内企業8社

美濃工業(株)・ハビックス(株)・ムトー精工(株)・(株)丸順・シーシーアイ(株)・太平洋精工(株)・十六銀行・大垣共立銀行

### 岐阜県・飛騨牛フェア(コンラッド・バンコク・ホテル)

岐阜県からの出席者は私のほか、古田知事・村下副議長・小川県議・矢島県議・森県議・佐藤県議・野島県議・水野県議・田中県議・加藤県議・村上県議・平工農政部長・古田観光交流推進局顧問・河合観光交流推進局長・足立能夫、桑田博之農業協同組合関係者など。

会場は岐阜県の観光ポスター・関の刃物・東濃の陶磁器・高山の木工製品・大垣のヒノキの升など。また、食品関係では柿・栗・リンゴ・枝豆・ほう



れん草・トマト・鮎・キュウリ・黒ニンニクなどきれいに展示してありました。

在タイ日本国特命全権大使 佐藤重和大使はじめ JETRO 関係者等総勢150

名の皆さんをお招きして**飛騨牛フェアがコンラッド・バンコク ホテルで**

**開催**されました。



知事に佐藤重和大使を紹介され、大使から岐阜県の海外戦略について色々とお話を聞きました。佐藤大使は以前香港の大使を務めており、その折にも岐阜

県の海外戦略について大変ご協力を頂きました。大使も古田知事の人脈





の広さ海外戦略に対する熱意には感心しておられ「古田知事さんが現職のうちに大いに岐阜県の海外戦略の道を上げられると良いですよ。」と言っておられました。

**タイ岐阜県人会の伏屋和政会長**さんにお会いしました。会長は岐阜市南長森のご出身で、私の友人伏屋伊佐夫氏の弟さんでした。タイで建設業を初めて40年になるとっておられ、私の事をお兄さんに聞かれよく知って頂いておりました。



式典は主催者の古田知事の岐阜県を紹介する挨拶に始まり、来賓代表佐藤重和大使の挨拶。この席でも大使は古田知事の海外戦略についての力強さを話され、大使も全面的に岐阜県を応援していくと言われました。

岐阜から持ち込んだ樽酒の鏡割りをタイ関係者と盛大に行い、試食会が始まりました。その後タイの観光大臣 SOMBAT KURUPHAN 大臣がお見えになりご挨拶を頂きました。知事によれば、一県のイベントに大臣が出席することはほとんどないそうです。これも古田知事のタイ日本大使との友情からとのことでした。

JETRO 関係者の中で大垣共立銀行バンコク駐在員事務所に勤務している**三矢健二君**が挨拶に来てくれました。彼は芥見東小学校出身で、小学校のカブトムシ滑り台を制作した時の生徒でした。郷土の誇りとして頑張れと激励してあげました。



バンコクで WAttention(広告雑誌)を出版している**辻村晶さん**にお会いしました。彼女は大阪市の出身でお綺麗な方でした。彼女に黒ニンニクを試食してもらい、黒ニンニク効果について説明をしたら、是非雑誌に載せますと約束してくれました。本当に雑誌に掲載されればすごいことです。

飛騨牛フェアの試食会、今夜は飛騨牛ステーキ・飛騨牛寿司・アユの塩焼き・栗入りの焼きおにぎり・枝豆など岐阜県産の食が盛り沢山出ておりました。飛騨牛のステーキは大変な人気ぶり、塩焼きの鮎も評判でした。中でも黒ニンニクは物珍しく、私が説明役で黒ニンニクの効果をとことん細かく説明をすると皆さん我も我もと試食されました。舌触りがよく味も良いとの評判でした。どの国の人達も健康を保つこと、元気が出る事には気を使っていますね。**黒ニンニクの世界戦略まずは大成功**でした。



農協関係者からの岐阜県農産物の説明、県の古田顧問からの岐阜県の観光説明は試食会の中であり、イン

パクトが薄かったと思いました。最後にこのフェア参加者に、一等飛驒牛などが当たる抽選会をして閉会しました。

10月17日(木)

バンコク国際空港 11時発 台北桃園国際空港 15時40分着

## 亜東関係協会訪問



亜東関係協会とは中華民国(台湾)と日本が、1972年9月29日に断交したことを受け、中華民国は同年12月2日に亜東関係協会を、日本は同12月1日に財団法人交流協会をそれぞれ設立、引き続き双方の通商、文化交流、技術協力といった非政府間の実務的な関係を維持し、



両国政府の意思疎通と交流の事務的なプラットフォームとしての役割を果たしている。日本には現在、大使館に相当する駐日台北経済文化代表及び

領事館に相当する駐大阪弁事処、駐福岡弁事処、駐横浜弁事処、駐札幌弁事処、駐那覇弁事処、の5拠点を設置し、日本に在住する中華民国国民へのサービスと、台日間の協力や交流の推進を行っている。

**亜東関係協会 李嘉進(リ カシン)会長** 以下協会幹部の皆様方と、**岐阜県と台湾の交流について懇談。**

李嘉進会長(56歳)は日本・筑波大学大学院を出て経済学修士号を取得されています。立法委員(国会議員に相当)4期連続当選後、亜東関



係協会に今年5月に就任されています。彼の好きな言葉は「和平養無限天機」(常に和の心、すなわち寛容の気持ちをもって処世すれば必ず好機に恵まれる。)でした。



古田知事は、台湾から岐阜県に来る観光客が2009年には 39,180 人であったものが2012年には 69,160 人と1.8倍に増加している。雪景色を好む人達にとっても飛驒高山は大変魅力的で交通も日台オープンスカイ協定が締結され中部国際空港と台北桃園国際空港の便が週25便、小松空港は週7便、富山空港は週4便と定期便が増え、岐阜県へのアクセスが良くなりましたと説明しました。

李 嘉進さんは、私も高山・白川郷は大変好きな所ですと言われ、日本と台湾は近年スポーツ交流や青少年の交流が盛んになり両国の関係が良くなってきているので、岐阜県もこうした交流を盛んにすれば、岐阜県に行く観光客も増えるのではないかとっておられました。

**アンバサダー・ホテルの会長と会談** 会長と古田知事とは友人。その為このホテルに泊まりました。台北ヨ



ヨーロッパテイストの格調高い建物と、モダンで洗練された客室を持つ高級ホテルとの話でしたが、宿泊後の知事と私の評価は、期待外れでありました。やはり文化の差であったのかなあと思いました。

## 10月18日（金） 台湾政府外交部主催の旅行博を視察



今日は朝から雨降りですが、台湾旅行博の会場は屋内ですので助かりました。大きな会場に着けば、既に多くの入場者が列を作り入場を待っていました。会場内は台湾の旅行会社



が各国の観光地のキャンペーン・ブース展示で一杯でした。20万人の入場者があるとの事でした。

岐阜県の観光協会が出展しているブースは、白川郷と高山観光、そして、下呂観光が目にとまりましたが何故か他の観光地はあまり目にとまりませんでした。やはり力の入りようが違うせいかな、岐阜市の1300年の歴史を持つ鶯飼は、世界遺産を目指すと言っているが、パンフレットがあるのみで淋しい気がしました。

これでは到底世界遺産どころか外国からのお客も増えないと思いました。



**開会式典**が始まり、日本のソウラン節のダンス・地元台湾のダンスで幕開け。にわかには警備員が増えたと思ったら、**台湾の総統が式典会場に入場**。古田知事の話によれば、こう



した観光キャンペーン展示会に総統が来る事は大変珍しいことだそうです。



**古田知事はテープカットに参加**しました。台湾総統の挨拶は言葉は良くわかりませんが、大変力が入って



おりました。

岐阜県のブースで目にとまったパンフレットを一つ紹介しましょう、下呂の水明館のパンフレットに「天皇指定入住」と書いてあり又、「下呂温泉・草津温泉・有馬温泉並列三大名湯・為岐阜懸最大温泉 水明館更是天皇指定百選大賞温泉旅館」と紹介してあり、日本では「天皇指定入住」とは、なかなか明記できないと思いますが、商魂たくましく思いました。



**旅行博覧会場の隣に タイペイ101の高層ビルの展望に上がり**タイペイの街並みを眺めてみれば、多くのビジネスビルが建ち並んでおり、世界のビジネスマンが集まる商業都市を目の当たりにしました。

帰国時間が迫り視察を終えて空港に向かいました。

今度の古田知事との海外トップセールスは成功裡に終わったと思います。

改めて古田知事の海外での顔の広さを痛感いたしました。

今回の成果が、今後東南アジアからの観光客が入込数値として表れる事を確信しました。

また岐阜県産の食品、工芸品等展示した商品が輸出できることを期待しています。



**台北桃園国際空港 2013年10月18日 15時45分発 中部国際空港 19時35分着**

報告作成：岐阜県議会議員 玉田 和浩